



人権講演会～心のバリアフリー～

○久保さんの話を聞いて心に残ったことは、地元で友達ができなかったという内容です。久保さんは5歳の時から親元を離れてリハビリをしていたために、地元で友達ができなかったということでした。自分の周りには友達がいて、体に不自由さを感じることなく暮らしています。友達を大切にしようと思いました。今の富岡東中学校の1年生は80人いてまだ話したことのない人がいます。これからも、大切な友達づくりをして、決していじめをしないということを中心に刻んで、生活したいと思えます。



○久保さんのお話を聞いて、改めて障がい者も自由に生きていると思えました。障がい者はどこかでできない行動があったり、行動がしにくかったりすると思っていましたが、障がい者だから自由ではないということはありませんでした。久保さんが話していたとき、少し聞き取りにくいところもありましたが、すぐに慣れました。久保さんは話す前に「寝たかったら寝てもええよ。」と言ったり、おもしろいジョークを言ったりと、生きいきしていた所が心に残りました。また、自らが障がいを理由にいじめや差別を受けた経験から、「いじめをするような人は最低」と強く訴えられたことが心に残りました。久保さんは「自分や周りを大切に」「命を大切に」と何度もおっしゃっていました。僕は全て大切にしているつもりですが、絶対に粗末にははいけないと改めて思いました。

人権意見作文から

○「普通」「当たり前」という言葉を、私はよく使います。(略) 私がこの「普通」という言葉について考え始めたのは、ある人権学習がきっかけです。その学習で先生から「普通の人ってどんな人なのか。」という質問がありました。すごく難しく、これといった答えは出ませんでした。けれど、この質問で私は一つ気づいたことがあります。「普通」というのは、個性を隠してしまう言葉じゃないのかなということです。(略) 私は「普通」という言葉を少し怖く感じました。様々な視点から周りを見ると、新しく見えることがあります。様々な視点を持ち、見つけた違いを認めることのできる人でありたいです。

○(略) 今まで私は、自分のものさしで物事をはかっていました。また、知らず知らずの内に「普通」や「当たり前」という言葉を使って、差別していたと思えます。自分の中の「普通」に当てはまらなかったら、「普通でない。」「おかしい。」と思いついでいました。そういった思い込みをしてしまうのは、相手のことをよく知らないからだと考えました。相手を知らない、知ろうとしないから、思い込みが起こってしまうと思えます。これからは、今まで学んできたことや経験が無駄にしないようにしていきたいです。みんなが笑って生活できる安全な社会を目指して頑張っていきたいです。

○私は、富岡東中学校に来て、人権について多くのことを学びました。(略) 私の心に残っている人権学習は、障がい者の人権

です。「メガネと補聴器」や久保修先生の講演を聞いて学びました。そして、昔と今の自分では、障がいについての考え方が違っていました。昔の私は、障がいをかわいそう、大変そうなどのマイナス的なイメージをもっていました。けれど、学習を進めていくうちに、この考え方は間違っていることに気づきました。

(略) 人の心を傷つけているのは人間だけど、その人の心をいやしているのも人間だということです。だから、私は人を傷つける人間ではなく、人の心に寄り添える、人の傷をいやせる人間になりたいです。

人権意見作文発表会

○発表を全て聞いて思ったことは、一人一人がしっかりと考えていたということです。同級生の発表は、授業をしていたので分かりやすかったです。(略) 「十人十色」という考えができるようになりたいという発表を聞いて、私もそう思いました。たくさんの方が同じ考えをするわけがないので、一人一人の考えを大切にしておくことが大事だと思います。「自分や相手のよいところを見つける。」と先輩が発表されていましたが、久保さんも同じことをおっしゃっていました。私は「一日に一人の良いところを見つける」と人権意見作文に書きました。それは今もしています。相手の良いところを見つけるといじめがなくなり、みんなが嬉しくなると思えます。人から良いところを言われると、自分も嬉しいし、相手も嬉しいのではないかと思います。このような自分もされて嬉しいと思えることをたくさんしたいと思えます。



○私が一番印象的だったのはFさんの発表です。私も「〇〇なのに」という言葉は苦手です。実際に「女子なのに…」と言われたことがあります。けれど、私は嫌な気持ちになって終わるだけでした。だから、Fさんの『自分の見方を変えて、「なぜ〇〇なのに」と言うのだろうかと考えてみた』という考え方に驚きました。私も、他の人に言葉に感情的になるのでは無く、なぜ〇〇と言ったのだろうかと考えられるようにしたいです。



○今日の発表を聞いて、自分の考え方を改めないといけないと思うことが多くありました。(略) Yさんの発表で一番心に残ったのは、「誰かに頼りやすい環境が必要」だということです。Yさんが発表されていたように、人に頼ることをためらう人もいます。一人でできることには、誰しも限りがあると思うので、ぜひ頼ってほしいです。頼ってもらうには、その人の事をよく理解し、わたし自身も周りをよく見て、その人の変化に気づくことが大切だと思います。Yさんが発表していたように、相手を気遣って「女やけん」と言ってくれることもあり、私は差別なのか区別なのか、疑問が残る課題です。Yさんが発表していたように「自分の固定概念をなくすことが差別をなくすことにつながる」という意見にとっても賛成です。この意見はKさんが発表していた「普通」という言葉に大きく関係していると思えます。Fさん、Kさんの発表を聞いて、私に向けて言われているような気がしました。(略) 私の中での普通は、相手にとっての普通ではないかもしれません。物事に会ったときに、自分の固定概念がなく、大きなものさしではかることができる、そんな人になれるようにしたいと思えました。

